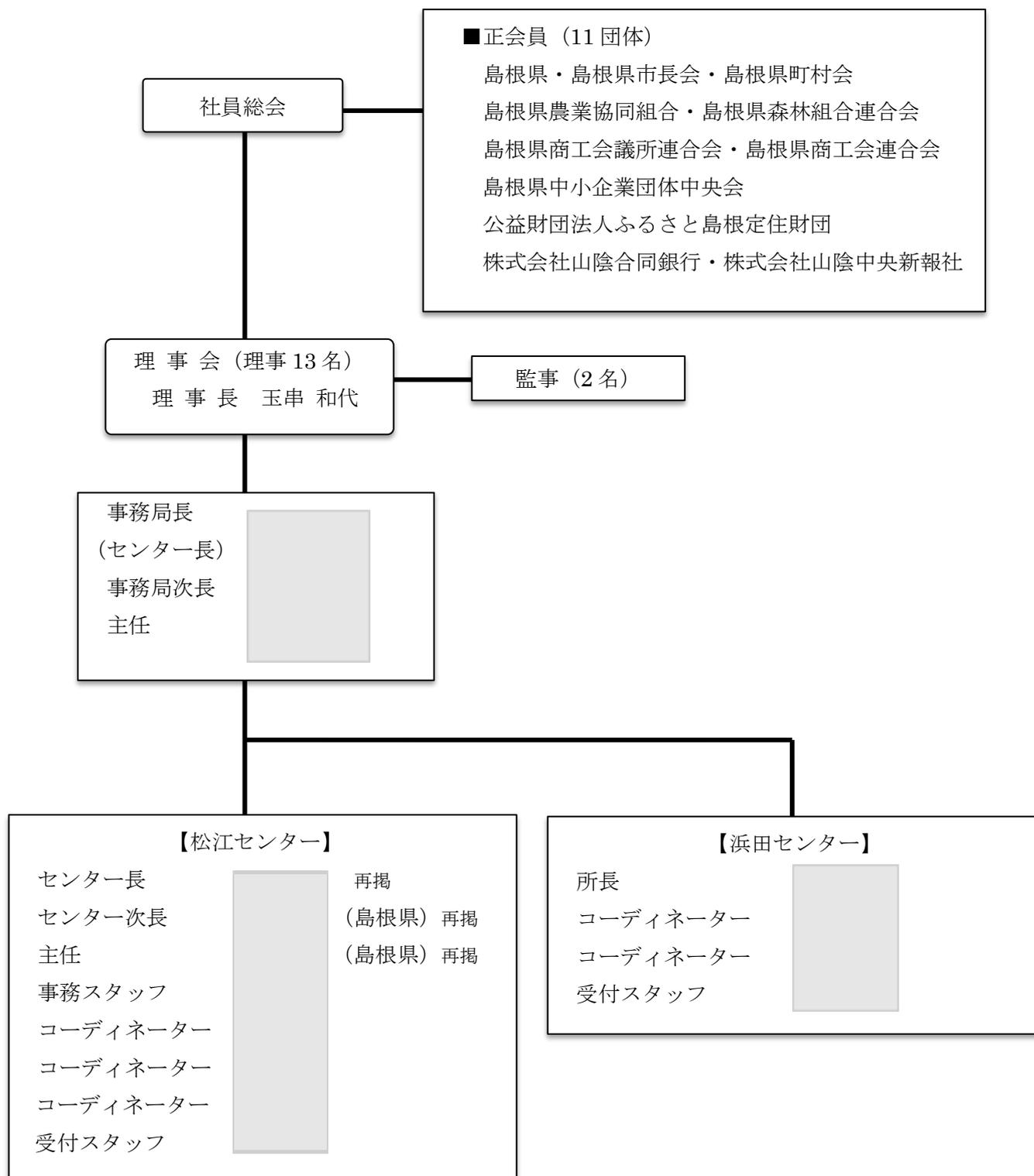


令和2年度事業報告について

1. 推進体制



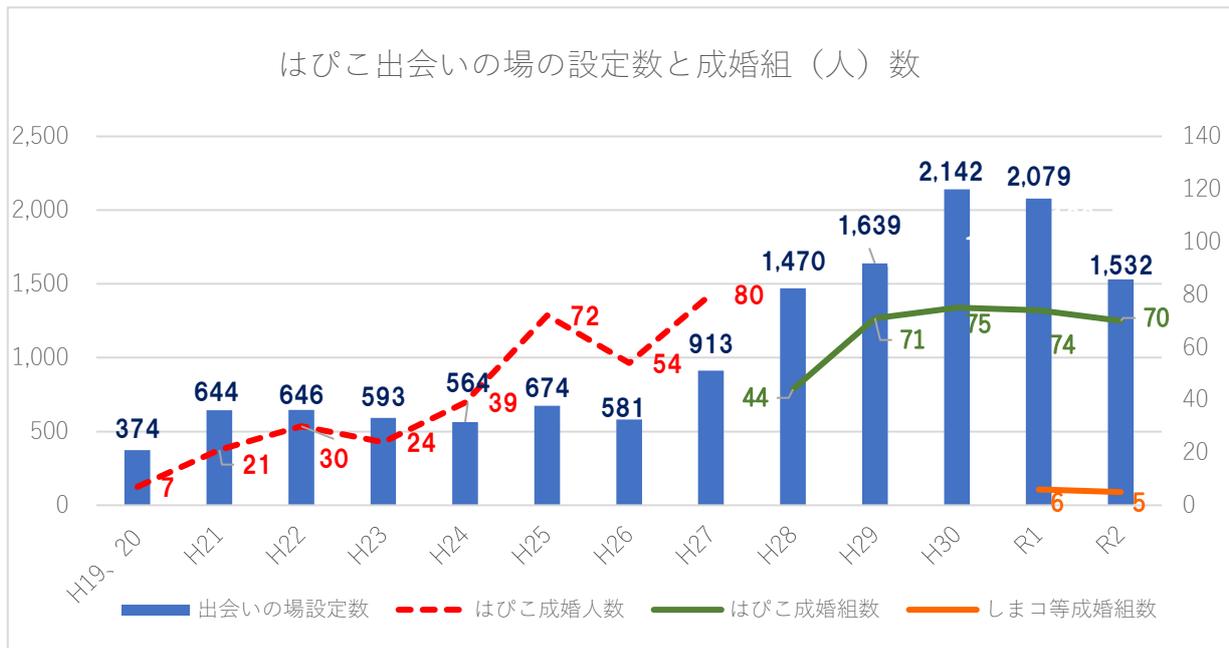
2. 取組の概要

(1) はぴこによる成婚数

令和2年度、はぴこ相談員が設定した出会いの場は1,532件で、前年度の2,079件から547件(-26%)と新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少し、出会いの場の設定件数の減に伴い、交際件数は403件と前年度の563件から160件(-28%)減少した。成婚数は70組となり、前年度の74組には僅かに及ばない結果となった。

また、しまねコンピューターマッチング「しまコ」やイベントによる成婚が5組あり、センターを通じた婚姻数は75組となり、前年度の実績から5組の減少となった。

なお、島根創生計画の重要業績評価指標(KPI)「しまね縁結びサポートセンターを通じた婚姻数」の目標値(令和2年度75組)に対する達成率は100%となった。



(2) はぴこ相談者数、はぴこ登録者数

令和2年度末の相談者数は1,377名(男性842名、女性535名)と前年度末から71名の減となった。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、各交流サロンなどが中止となったことにより、新規登録者数は333名と前年度より89名減少したことによるものである。

令和2年度末のはぴこ相談員・協力員数等は23名増加し260名となった。30、40歳代の若い方の登録も増えたが、市町村別でみると、町村部が22%となっており、引き続き、離島・中山間地域ではぴこ登録者を確保する取組を強化する必要がある。

なお、島根創生計画の重要業績評価指標(KPI)『縁結びボランティア「はぴこ」の人数』の目標値(令和2年度240名)に対する達成率は108%となった。

(3) 「しまコ」会員登録件数等

導入から約2年半が経過したしまねコンピューターマッチング「しまコ」の令和2年度末での会員登録数は527名(男性389名・女性138名)、鳥取県の同様システム「えんトリー」とも連携し(山陰連携)、マッチング件数は、累計450組(しまコ会員同士266組、山陰連携184組)、カップリング件数は累計198組(しまコ会員同士129組、山陰連携69組)、結婚報告数8組(しまコ会員同士5組、山陰連携3組)という実績となった。

課題としては、女性登録者が全体の26%であること、離島を含めた町村部の登録者が全体の約8%と極めて少ないことが大きな課題となっており、今後、会員に対しての利便性の向上や、ターゲットを絞った広報等をしていく必要がある。

なお、お引合せに同席する縁結びボランティア「サポーター」は74名（内60名をはぴこ相談員・協力員が兼務）と前年度より1名増加した。

なお、島根創生計画の重要業績評価指標（KPI）『「はぴこ」の利用申込者及び「しまこ」の会員の人数』の目標値（令和2年度1,800名）に対する達成率は106%と目標値をクリアした。

3. 個別事業の実施状況

1. 結婚支援強化事業 [12,612,358円]（前年度-1,576,257円）

結婚を望む独身男女の希望を叶えるため、縁結びボランティア「はぴこ」による結婚相談、お見合いの設定等を支援した。

(1) はぴこ縁結び活動支援業務

- ・はぴこが相談者と面談又はお見合いを設定した場合に、活動経費の一部（交通費、通信費等）として115名のはぴこに対し、延べ1,808件、1,808,000円を支給した。
- ・はぴこ登録者へ登録証を交付し、ボランティア保険に加入した。
- ・その他、はぴこを介して成婚された方の中で、希望者には成婚者記念品を贈呈した。

(2) 地区はぴこ会の活動支援業務

- ・地区はぴこ会が実施する交流サロン（結婚相談会）の運営、出会い創出イベントの実施、他地区はぴこ会との交流等に対して補助金を合計4,840,000円交付した。
- ・今年度も10地区のはぴこ会が延べ104回交流サロンを開催し、342名の相談者が来所した。

地区別の活動実績等は以下のとおり。

地区名	交流サロン（結婚相談会）					出会い創出イベント		
	開催日時（毎月）	開催場所	開催回数	相談者数	はぴこ参加者数	開催回数	参加者数	はぴこ参加者数
松江	第3日曜日/9時半～11時半 第1金曜日/15～18時	サンラポーむらくも しまね縁結びサポートセンター（松江）	11	65	88	3	16	12
安来	第2日曜日/10～12時	カフェ・ローチ	7	25	36	1	29	5
出雲	第2土曜日/9時半～12時半 第3木曜日/18時～20時	出雲市男女共同参画センター ショッピングセンターVIVA	13	80	140	2	30	18
雲南	第4土曜日/10～13時	Aコープきすき	7	12	30	1	22	14
奥出雲	第2日曜日/10～15時 第2火曜日/13時半～15時半	雲州そろばん伝統産業会館 カルチャープラザ仁多	18	14	31	1	6	3
飯南	第4金曜日/18時～20時	飯南町役場 相談室	3	3	3	1	10	2
江津	第2水曜日/18時半～20時	café桜co.	11	11	65		未実施	
大田	第2金曜日/19～21時	大田商工会議所	9	56	93		未実施	
浜田	第3日曜日/10時～12時 第4金曜日/18～20時	こんちゃ 浜田公民館	16	14	88		未実施	
益田	第2土曜日/10～12時 19～20時	E A G A	9	62	44	2	12	5
合計			104	342	618	11	125	59

(3)はぴこ広域マッチング推進会議開催業務

各地区で開催される結婚相談会を通じた地区内でのマッチングだけでなく、より広域でのマッチングにつなげるため、センターコーディネーターとはぴことの定期的なマッチング会議を開催した。

- ・計6回の会議を開催し、延べ42名のはぴこが参加した。
- ・会議の結果、「婿に行ける男性、婿希望の女性」「35歳前後の男女」等のテーマに沿ったマッチング候補を設定し、マッチング成立数50組、その内、実際にお引合せは18組おこなわれた。

(4)はぴこ研修開催業務

はぴこが多様な相談者に対して、適切な縁結び活動ができるように、障がいのある相談者への配慮ある対応方法や、結婚支援にかかわるデータ等の紹介、ケーススタディなどの研修を地区別、階層別に実施した。また、「しまコ」システムについての理解を深めるためサポーター研修を実施した。

① 地区別研修会

- ・はぴこ活動の拠点である地区はぴこ会の単位である全11地区で開催し、133名のはぴこが参加した。内容としては、活発に活動するはぴこの講話や、結婚支援にかかわるデータ等の紹介、意見交換などを行った。

② 新任研修

- ・主に入会1～2年目のはぴこに向け、活動マニュアル解説、実技研修（サロンやお引合せ時の振る舞い方、着眼点等）を実施し、6か所で24名のはぴこが参加した。

③ スキルアップ（ベテラン）研修

- ・3年目以上のベテランはぴこに向け、障がいのある相談者への配慮ある対応（主に精神疾患）、ケーススタディ（小グループによる議論）を通し、はぴこのレベルアップを図る研修を行った。
- ・2か所で52名のはぴこが参加した。

④ サポーター研修

- ・しまコサポーターに向け、コロナ影響下でのお引合せ等の特例措置や過去に対応が不正確だったケースについての情報共有のための研修を行った。2か所で14名のはぴこが参加した。

⑤ 県外セミナー

- ・新型コロナウイルスの影響により結婚支援セミナーが開催中止となるなど、はぴこへの感染リスクを考慮し、県外視察等は見合わせた。

⑥ 集合研修（大はぴこ会）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見合わせた。



(5)市町村との連携強化業務

- ・県が市町村に対して人件費を交付する結婚支援担当職員と連携し、交流サロンの開催支援、はぴこ専用端末対応、新規はぴこの募集、各種情報発信等により各地区はぴこ会の活動支援を行った。

【結婚支援担当職員（結婚支援相談員）配置 4市3町】※令和3年3月31日現在

松江市、出雲市、大田市、安来市、奥出雲町、飯南町、美郷町

【はぴこ専用端末の設置 5市1町】

出雲市、大田市、安来市、江津市、雲南市、飯南町 下線市町…令和2年度設置

(6)はぴこ勧誘促進業務

- ・主に県東部を中心に、はぴこ相談員の勧誘のため、個別面談等を行った。
- ・また、今年度、しまね縁結びはぴこ会は、県民の模範となるボランティア活動を展開している個人・団体を県が顕彰する「県民いきいき活動奨励賞」を受賞され、前年度の内閣府特命担当大臣表彰（子供と家族・若者応援団表彰）に続く表彰となり、はぴこ全体の認知度や社会的評価も向上し、このことが今後のはぴこ勧誘に資するものとなるのではないかと思われる。
- ・これらの取組とはぴこによる勧誘活動により、令和2年度の新規はぴこ登録者数は21名となった。

(7)専門カウンセリング研修

- ・婚活に悩む相談者等の心理的な不安を専門家（臨床心理士）がケアする相談会を6回開催し、21名の参加があった。

2. コンピューターマッチングシステム事業 [7,722,128円]（前年度+2,263,717円）

- ・しまねコンピューターマッチング「しまこ」のシステム運用保守、並びに鳥取県えんトリーマッチングシステムとの連携に係る運用保守を行った。
- ・従来しまこ閲覧に取り組んでいた市町に加え、令和2年度は主に県西部の市町村を中心に、閲覧箇所を増設し、相談者の利便性を高める取組を行った。

【しまこ端末の窓口設置 8市4町】※令和3年3月31日現在

松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、奥出雲町、飯南町、美郷町、海士町 下線市町…令和2年度設置

- ・各市町村に閲覧箇所が増設されることに対応し、臨時的に新規会員登録の出来る特設会場を毎月、隠岐や県西部にて開設した。
- ・また、センター等に来所することなく新規登録が出来るリモート登録、チャット機能による代替お引合せ等の運用を開始し、新型コロナウイルス影響下においても、会員が安心してしまこを利用できるようにした。
- ・しまこの課題である若年層の女性会員の増加を図るため、若年層・女性の集客が多い美容・飲食店等の店舗へのリーフレット等の配置、若年層の利用の多いSNS上にマンガを活用した情報発信を行った。
- ・引き続き、しまこ受付スタッフによる円滑な登録者対応に努めた。
- ・令和2年度のしまこ新規登録者は141名（男性102名、女性39名）、お引合せ件数204組（しまこ同士124組、山陰連携80組）、カップリング件数96組（しまこ同士67組、山陰連携29組）、結婚報告数4組（しまこ同士2組、山陰連携2組）となった。

3. 出会いイベント等事業 [1, 234, 561 円] (前年度-2, 723, 795 円)

結婚を望む独身男女に多くの出会いの場を提供するため、年代別・テーマ別のイベントや出会いに対する心構えをテーマとしたセミナーを開催した。

また、市町村を通じて民間団体が企画するイベント・セミナーへの補助事業を実施したほか、メールマガジン「恋みくじ」により官民が主催する各種イベント・セミナーの情報を配信した。

「恋みくじ」で配信等を行った民間等の出会いイベント等は 152 回となり、前年度 (328 回) と比較すると半減したものの、インターネット上のイベントも 40 回あり、新型コロナウイルスの影響下での新しいスタイルの出会いの場が提供されている。また、そのうち県、センターが関連した実績は 33 回 (市町村 10 回、はぴこ会 11 回、センター 8 回、市町村を通じ助成した民間団体 4 回) であった。

(1) センター主催事業

① 趣味婚活 (2 回開催)

- ・「マンガ」、「インドア好き」など共通の趣味をテーマとして、フリートークを展開。
- ・のべ男性 10 名、女性 8 名が参加。2 組が交際した。
- ・新型コロナウイルス感染症予防のため 2 回中止した。

② ご縁ルーム

- ・準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

③ お友達から始めよう (3 回開催)

- ・プロフィールリストを交換し、1 対 1 で参加者全員とゆっくりフリートーク。
- ・のべ男性 12 名、女性 10 名が参加、3 組が交際、2 組が連絡先を交換した。

④ センスアップセミナー (2 回開催)

- ・女性を対象に第一印象をアップさせる好感度アップメイクを学び、実際に写真撮影をおこない、ポージングなどを学ぶことで婚活意欲を高めるセミナーを 2 回開催した。
- ・のべ女性 11 名が参加し、撮影写真はしまコ登録用写真等として活用された。

⑤ 1 対 1 のプチお見合い (1 回開催)

- ・のべ男性 5 名、女性 3 名が参加。

センターでは、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、上記イベント・セミナーを開催し、のべ 59 名 (男性 27 名、女性 32 名) の参加があった。一方、新型コロナウイルス感染症のために中止したイベントが 3 回、対象とした年齢の参加者が集まらず中止したイベントが 6 回あった。

(2)民間団体支援事業

地域で取り組む独身男女の出会いの場づくり、セミナーを支援するため、市町村を通じて補助金を交付した。

- ・補助実績 3市町4団体4件（補助額800千円）
- ・成立カップル数 3組
- ・補助事業の中止 4市町4団体4件（新型コロナウイルス感染予防のため）

(3)メールマガジン「恋みくじ」配信実績等

しまね縁結び応援団に登録のある34団体から依頼されたイベント等の情報を227回（再配信を含む。）配信した。

令和2年度末のメールマガジン「恋みくじ」登録者数は2,380人だった。前年度末の2,329人と比較して、51人増加した。

鳥取県のメール配信システムと統合していることにより、山陰両県で開催されるイベント等について受信できるようになっている。

4. 多様な広報媒体によるPR強化事業 [3,316,153円]（前年度+1,081,797円）

新規に「はぴこ」、「しまコ」による成婚事例を紹介したマンガ冊子を作成し、SNS、新聞等の媒体でマンガを活用し、より親しみやすい広報に努めた。

また、新規にバス広告（一畑バス）を実施。その他、ラジオによる「しまコ」の入会登録料半額キャンペーンの周知、HP更新等により当センターの認知度向上を行った。



5. 企業等と連携した出会いの場の提供事業 [226,330円]（前年度-453,810円）

結婚を希望する従業員の出会いや結婚を応援する企業、団体等をサポート企業として募集・登録作業を行った。

令和2年度はサポート企業に対して「しまコ」の出張登録会を開始した。また、サポート企業のPRロゴマーク入りの店舗用ステッカー及び自動車マグネットを配布。「はぴこ」、「しまコ」、イベント等の情報提供を実施した。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためサポート企業結婚支援担当者セミナーの実施は見合わせた。

<サポート企業登録状況>

- ・令和3年3月31日時点で339の企業・団体が登録され、登録企業に在籍する独身男女の数は9,695名（自己申告による）となった。前年度末と比べて24社増加した。

6. 県外在住者に対する結婚支援事業 [87,588円] (前年度-952,599円)

県外在住者に対する結婚支援は、(公財)ふるさと島根定住財団が主催するイベントに出展する等して取り組んだ。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年開催される「しまねU・Iターンフェア」が中止となった。大規模バーチャルイベント「しまね移住ワンダーランド」(11月28日)にブース出展したが、実績はなかった。

その他、(公財)ふるさと島根定住財団の作成する冊子にしまこキャンペーンの掲載や東京サテライトオフィス(日比谷しまね館)でのリーフレット配架等、連携して結婚支援を行った。

・首都圏等での出会い創出イベント「島コン」の開催支援

県が実施する首都圏等在住の島根県出身者や島根県に興味・関心を持つ方を対象とした出会い創出イベント「島コン」(オンライン)に対して、経験豊富なベテランはぴこの派遣や開催補助、「しまね縁結びサポート企業」を対象とした情報発信などの開催支援を行った。

7. 会議等

(1)社員総会・理事会

①令和2年度第1回理事会(令和2年6月12日) 出席した理事及び監事 9名

決議事項 第1号議案 令和元年度事業報告及び決算報告について

第2号議案 令和2年度定時社員総会の開催日及び議題の決定について

②令和2年度定時社員総会(令和2年6月26日) 出席社員数(委任状含む) 11名

決議事項 第1号議案 令和元年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の承認について

第2号議案 役員の選任について

第3号議案 理事の報酬の上限額について

③令和2年度第2回理事会(令和2年6月26日) 出席した理事及び監事 11名

決議事項 第1号議案 役付理事の選任について

④令和2年度第3回理事会(令和3年2月25日) 出席した理事及び監事 9名

決議事項 第1号議案 令和2年度収支補正予算の決定について

第2号議案 令和3年度事業計画及び収支予算の決定について

第3号議案 規約の制定及び改正について

(2)各種会議等

・はぴこ代表者会議(7/10)

・はぴこ活動推進プロジェクト【東部】(11/2、3/18)

・はぴこ地区別研修会

(9/12 出雲、9/12 益田・吉賀・鹿足、9/17 大田、9/26 雲南、10/3 隠岐地区、10/11 奥出雲、10/14 江津、10/18 松江、10/19 飯南、10/23 浜田、11/8 安来)

・はぴこ新任研修(7/31 隠岐の島、8/4 川本、12/12 西ノ島町、1/19 江津、1/21 大田、3/14 雲南)

・はぴこスキルアップ(ベテラン)研修(11/22 松江、11/23 浜田)

・しまこサポーター研修会(11/22 松江、11/23 浜田)

(3)他県会議等

- ・都内等での島根県出身者等イベント「島コン」(8/1、12/5、1/24、3/6【オンライン開催】)
- ・しまね移住ワンダーランド(11/28【オンライン開催】)
- ・結婚応援に関する全国連携会議(2/2【オンライン開催】)